

地域創造未来プロジェクト(仮称)について

地域創造未来プロジェクト(仮称)とは？

新たな四国圏広域地方計画は、

「手に取ってもらえる計画、中高生にも分かりやすく、若者に将来の希望・安心を持ってもらえる計画」を目指す。

そのためには、四国の10年後、20年後、30年後といった将来の姿を国民に感じてもらうことができ、計画そのものを身近なものにすること。

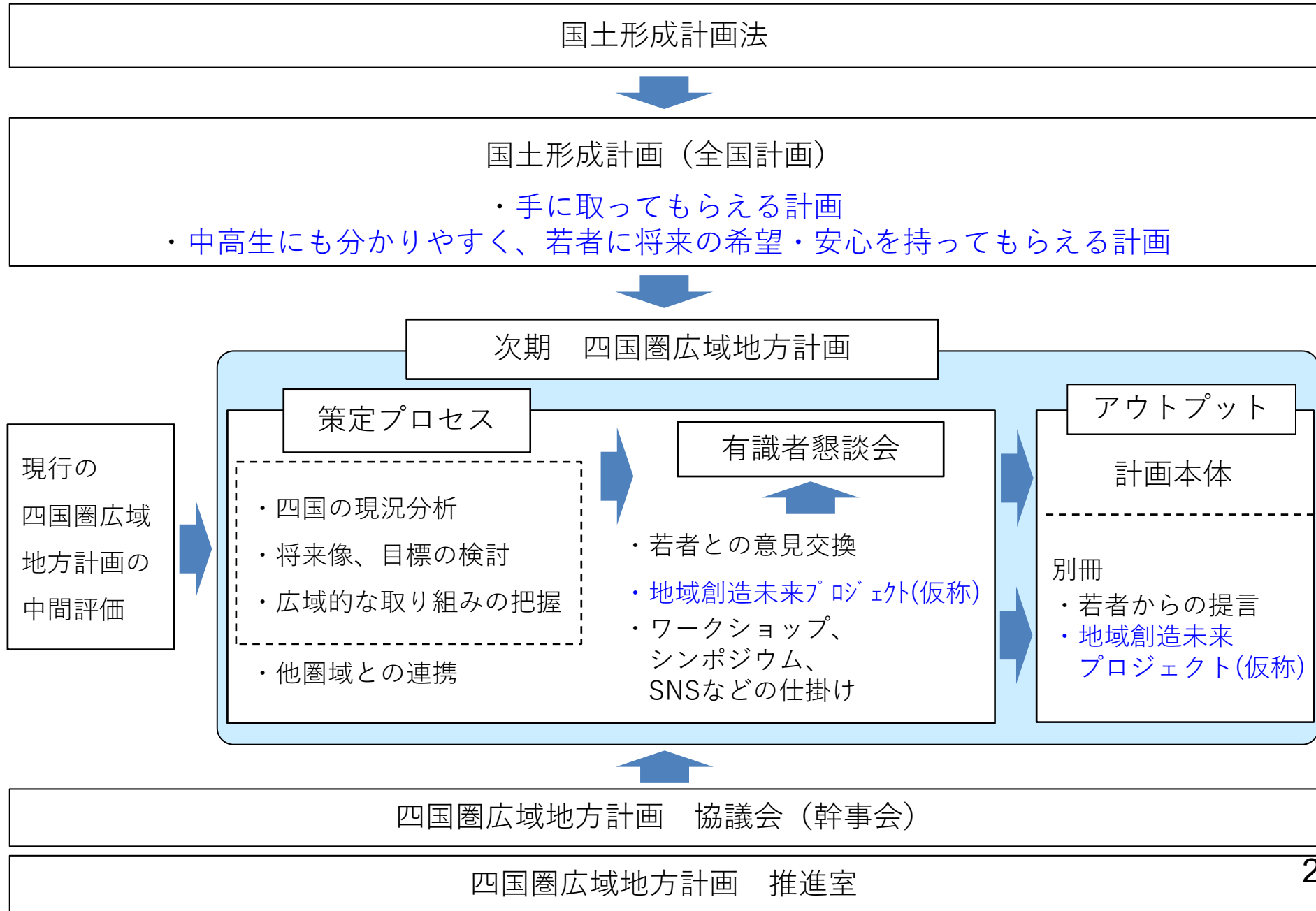


地域創造未来プロジェクト（仮称）

- ・希望あふれる四国の未来を感じてもらえるよう、実際に四国で進められているプロジェクトを紹介するもの。
- ・プロジェクト選定に当たっては、広域地方計画が描く将来像との整合に留意。

（法定計画の別冊など参考資料として位置付け）

地域創造未来プロジェクト(仮称)の位置付け



地域創造未来プロジェクト(仮称)のイメージ

以下は本プロジェクトの一例であり、さらなる収集・整理を実施予定。

プロジェクト名	取り組み概要	分野	地域
神山まるごと高専	「テクノロジー×デザインで人間の未来を変える学校」がコンセプトの私立高専。民間資金活用。2023年4月開校予定	教育	徳島県 神山町
上勝町ゼロ・ウェイストセンター	徳島県上勝町に完成した、ごみ分別回収所を中心とした複合施設。2003年、上勝町はごみゼロを目指し、自治体として日本で初めて「ゼロ・ウェイスト宣言」を掲げている。	環境	徳島県 上勝町
暮らしの交通株式会社	地元企業等12社が出資し、暮らしの交通株式会社を設立。自宅から半径2km以内の移動手段を、エリア定額乗り放題サービスとして提供。KDDIとWILLERの合併会社Community Mobility株式会社が提供するシステム「mobi」を導入し、2022年10月から無償実験運行を開始。	交通	香川県 三豊市
かもめや	ドローンを使った生活物資輸送の定期航路の取り組み。	物流	香川県 三豊市
里山スタジアムプロジェクト	サッカーの試合日はもちろん、365日の賑わいを創出する仕掛けをふんだんに盛り込んだ地域や自然環境と連携し循環しながら成長し続ける何世代にも渡って地域の人々に愛される今までにないサッカースタジアム。2023年2月供用開始予定。	スポーツ ／交流	愛媛県 今治市
糸まちプロジェクト	愛媛県西条市に新しく誕生した「いとまち」に集まる人びとのための、参加型プロジェクト。「エネルギー」「テクノロジー」「グリーンインフラ」「食」「建築」をキーワードとした、東京大学隈研吾研究室によるマスタープランを基に、遊びやすく暮らしやすい自然溢れるまちづくりを目指す取り組み。	地域づくり	愛媛県 西条市
本山プロジェクト	バイオマス発電所と次世代型園芸施設を組み合わせた地域密着型の農業クラスター事業。2000kW級のバイオマス発電所の廃熱や排ガスの再利用は国内初。	環境／農業	高知県 本山町

【プロジェクト紹介事例】里山スタジアムプロジェクト(愛媛県今治市)

- (株)今治. 夢ビレッジが、サッカーJリーグチーム「FC今治」の新スタジアム建設に際し、出資、借入れ、寄付金などの民間資金を充てて整備。
- サッカーの試合のない日も訪れる人々が関わりあいながらゆっくりと憩え、様々なアクティビティも体験できる開かれたスタジアムをコンセプトとして、整備が進められている。



里山スタジアム完成予想図

出典：F C今治 / 株式会社今治.夢スポーツ提供資料